



あさやま

コミュニティセンター広報

令和4年6月30日発行
第83号
朝山コミュニティセンター
事業委員会 広報部

世帯数と人口
2022.3月末現在(昨年同期)
世帯数 590戸(589戸)
人口(男) 771人(792人)
人口(女) 874人(891人)
計 1,645人(1,683人)

5月6日(金) 米づくり体験教室「田植え」

みなみ小学校の5年生13名と朝山幼稚園の園児12名が、ふれあい支援部(コミセン事業委員)の皆さんと田植えをしました。当日は、JA営農指導員の原さんにご指導いただきました。

ふるさと朝山で見られる動植物シリーズ⑥

「カワムツ」と「オイカワ」

自然に恵まれた朝山地区に住んでいても、最近魚釣りや魚釣りをし楽しむ子供たちが少なくなっているように思えます。今回紹介する2種類の魚は、朝山地区の川で最もよく見られる魚たちです。見たことがあるよという人も多いことでしょう。朝山地区ではこの2種とも成魚を「あかんばえ」、幼魚を「ねんば」と呼んできました。しかし、これらの正式な名前(和名)を知っている人は多くないかもしれません。

両種とも成魚の体長は10~15cmほどで、オスの方がやや大きく成長します。写真の個体はオスの成魚で、繁殖期にみられる婚姻色と呼ばれる独特の発色や、口元に追星と呼ばれるイボ状の突起をつけています。生息している場所は、カワムツの方がやや上流部の淵や植物などが繁茂した自然が多く残っている川に多く、オイカワの方は流れの緩やかな平瀬や人工的に改変された場所などでよく見られます。カワムツはもともと生息していた魚(在来種)ですが、オイカワはアユの放流などに混じって琵琶湖などから入ってきたもの(移入種)と考えられています。

佐藤仁志



カワムツ(オス)

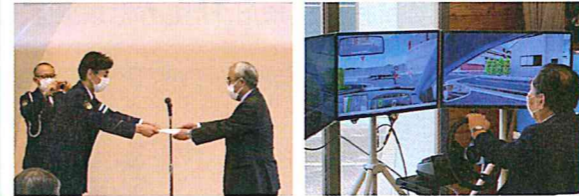


オイカワ(オス)

朝山地区の動き・お知らせ

4月13日「はつらつモデル地区」指定式

高齢者の交通事故が多い中、今年度は「はつらつモデル地区」に朝山地区が指定されました。指定式の終了後、反射神経の測定、道路横断や自動車運転のシミュレータなど体験機材のデモンストレーションが行われました。各地区で体験を希望される場合には、出雲警察署から交通安全アドバイザーの方が派遣されますので、朝山コミセンにお尋ねください。



長岡駐在さん 着任

4月から朝山駐在所に着任しました長岡 晃と申します。地域の安全のために頑張りますので、前任の松尾さん同様、よろしくお願いいたします。



文化講演会 開催のお知らせ

日時 8月7日(日) 10:00~
ところ 朝山コミュニティセンター
講師 朝山神社宮司 松尾充晶
(島根県古代文化センター 専門研究員)
演題 「朝山郷の古代史」

6月2日「不法投棄合同パトロール」

出雲保健所管内で毎年1か所、廃棄物適正処理推進事業が実施されますが、今年度は、市道朝山91号線(寺田橋~桜上町内)が指定されました。不法投棄監視モニター(知谷町内:藤原保久さんと今岡宏さん)委嘱式の後、保健所、警察署等の職員とともに合同パトロールが行われました。



祝 春の叙勲(保健医療功労)
旭日双光章 受賞
須谷 生男 様



自治協会費減免制度

【減免の対象世帯】
独居高齢者世帯、
高齢者のみの世帯、
特別な状況がある世帯で、
会費納入の負担が大きい世帯

【減免額】
年会費 7,500円 → 4,000円

【問い合わせ先】
朝山コミュニティセンター
TEL 0853-48-0201

地区民体育大会 中止

9月18日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止を決定しました。
朝山地区スポーツ協会

朝山お助けマン互助会

日常生活の困りごと、お手伝いします。
困ったときはお気軽に!

【料金】

区分	項目	基本料金	備考
会員登録	年会費	年度/1,000円	4/1~3/31
	外出の援助	1時間/1,000円	
利用料金	屋内の援助	1時間/1,000円	以降、30分毎に500円
	屋外の援助	1時間/1,000円	
	燃料・刈刃等の損料	1時間/300円	以降、30分毎に150円

【申込先】

	世話人氏名	電話番号	世話人氏名	電話番号
馬木	高橋 庸	48-1311	鳥屋尾 克己	48-1323
朝山	山之内 稔	48-2712	阿食 好夫	48-0253
所原下	奥井 喜代美	48-0797	奥井 芳夫	48-0855
所原中	多々納 司	48-0879	奥井 昌子	48-0555
所原上	飯塚 俊昭	48-1065	広戸 孝治	48-1163
見々久	青木 保二	48-0083	渡部 敏孝	48-1028

柳生 博さんの訃報に接して

馬木町 佐藤仁志

俳優の柳生博さんが4月16日に逝去された。広報あさやま編集部のたつてのお願いがあったので、柳生さんとの思い出などを綴ってみることにする。

柳生さんと私が最初に出会ったのは、今から28年前のことである。当時私は県庁職員として国立公園三瓶山の山麓北の原に大規模なビジターセンターである三瓶自然館を企画・建設し、その運営に当たっていた。

平成3年に開館し、翌年名誉館長を拝命してはどうかとの提案があり、候補者探しを兼ねて三瓶自然館のビジュアルドームで講演会を企画することとなった。この一環で、28年前の平成6年「自然保護トークin三瓶」と称した講演会に講師として柳生さんをお呼びしたのが初めての出会いであった。

講演会前日の夜に三瓶山に入っていたとき、翌日三瓶自然館を案内した後に講演会開催となった。終了後すぐに東京へと戻られたので、その時に接した時間はそう長くはなかった。しかし、その後近隣の県で行われた柳生さんの講演会の中で三瓶自然館の話をよくされているとの話がもれ聞こえてきた。わずかの滞在時間にもかかわらず、三瓶自然館のことなどを気に入っていただいたことに驚きと喜びを感じた次第である。当時は「全県フィールドミュージアム」といった構想があり、島根の自然そのものが野外の博物館で、その中心施設が三瓶自然館であると位置づけていたので、そのような発想などが気に入ってもらえたのかもしれない。

柳生さんにはその後も来県いただき、県内で講演会やふれあい会を開催していただいた。そして、3年後の平成9年に念願の三瓶自然館の名誉館長に就任いただくこととなった。柳生さんと私の関係は、それ以来密な付き合いとなり今日まで続いていた。後で知ったことであるが、当時柳生さんには

各方面から名誉館長や名誉教授への就任依頼が多く寄せられていたとのこと。それまでは断り続けていた名誉館長就任を、三瓶自然館に限り快く受けていただいたことに今でも大変感謝している。

その後柳生さんには、「全県フィールドミュージアム」の中心施設である三瓶自然館の名誉館長として、隠岐島を含めた県内各地を視察していただくとともに講演会を開催してもらった。講演会の決まった演題は著書のタイトルでもある「森と暮らす、森に学ぶ」であったが、講演の中にはその地の自然の特徴などを巧みに取り上げられ聴衆を魅了されていた。講演の中でよく話されていた言葉に「島根県民は民度が高い」というくだりがあった。また、「たしかな未来は、懐かしい風景の



隠岐島西ノ島摩天崖で参加者に話しかけられる柳生さん(H9.10.22)

中にある」との言葉もよく紹介されていた。島根県内の里地・里山のよく管理された風景をみられて、これらの言葉を実感されていたのであろう。

また、ご自身の幼少期の体験や柳生家の家訓のはなしなども講演の中でよく取り上げられていた。生まれ育ったのが茨木県の霞ヶ浦の近く、おじいさんは剣術の大師範で家には道場が2つあったこと。おじいさんから厳しく指導されたこと。家訓の一つに13歳になったら1人旅に出なさいとあり、実際に1か月ぐらいい旅に出たことなどを饒舌に話されていた。

柳生さんは、山梨県北斗市大泉町に広がるハケ岳山麓のカラマツ植林地を購入し、長年にわたり荒廃したカラマツ林を伐採し、周辺に自生している広葉樹を植栽して自然の森を復元してこられた。現在、多くの人たちを魅了し年間10万人以上の観光客が訪れている「ハケ岳倶楽部」はその成果の一部である。なぜ柳生さんがハケ岳にこだわったのかが、先ほどの家訓に基づく13歳の時の一人旅に深く関係していた。たまたま行った旅先がハケ岳山麓で、高原列車で有名な小海線の駅舎で寝泊まりしたことよるとの話を聞かされ、みなさんが驚いていた様子が今でも目に浮かぶ。その後も柳生さんの子や孫のみなさんにこの家訓が継承されており、孫の真子さん(現在大学院生)も13歳の時に島根に旅に出て、わが家にも宿泊



棚田を背景に住民と語り合う(H17.6.12吉賀町大井谷地区)

しさまざまな体験をしてもらった。

残念ながら柳生さんの講演会は出雲市では開催されなかったが、朝山の地はしっかり見ていただき、神戸川と一体となった里山風景を気に入ってもらったことが懐かしく思い出される。柳生さんにとって島根県は、たぶん出生地の茨木県と家を構えられた山梨県を除けば、最も深く関わられた県であると思う。

柳生さんには名誉館長以外に、平成16年に日本野鳥の会の会長になっていただいた。当時私は財団法人日本野鳥の会の理事の立場であり、新たな会長を模索する中で柳生さんの名前が出てきた。誰が交渉役になるかとの段に至って、前述したような長い付き合いがあることを初めて打ち明け、私が交渉役を務めることとなった。交渉の結果、所属されていたプロダクション社長の理解もあり、無報酬でボランティアとしてお願いした会長就任を快く受けていただいた。会長就任後は私が副会長となり、会長のサポート役を務めることとなった。日本野鳥の会の会長は15年の長きにわたって務めて



棚田の復活に住民と共に汗を流す(H17.6.13津和野町野中地区)

いただき、退任後も名誉会長として日本野鳥の会の公益活動にご尽力いただいていた。

多くのことを教えていただいた柳生さん、島根県のために多大な貢献をいただいた柳生さん、ほんとうにありがとうございました。(享年85歳)

事業委員会「専門部構成」と「事業計画」

まちづくり部

- ◆「花を育てよう」 明るいまちとひとづくり
- ◆手作りでお正月 ~しめ縄リースに挑戦~
- ◎藤林照賢 ○奥井喜代美
- 田部良男 大塚正悟 矢田三代治
- 成相 修 渡部治男 白築富夫

文化部

- ◆文化講演会 「朝山郷の古代史」
- ◆朝山地区文化祭(展示部門)の運営
- ◎三谷 卓 ○高橋英俊
- 永田仁志 成相直紀 富室英昭
- 成相秀樹 青木政夫 宇畑靖志

青少年部

- ◆居場所づくり事業 夏休み「子どもサロン」 冬休み「子どもサロン」
- ◎渡部文子 高橋ミドリ 加藤富美子
- 伊藤義巳 飯塚 清 青木茂夫
- 川谷貴子 吉田裕二

健康・スポーツ部

- ◆世代間交流 グラウンドゴルフ大会
- ◆世代間交流 カローリング大会

- ◎吉田 透 ○成相順良
- 成相一路 加藤繁夫 奥井洋次
- 飯塚賢二 田邊保孝 奥井祥之

広報部

- ◆広報「あさやま」の編集・発行 (83号、84号、85号、86号)

- ◎飯塚典子 ○高橋秀明
- 石橋節郎 吉田美幸 成相英幸
- 飯塚 勇

高齢者部

- ◆高齢者の健康づくり教室
- ◆世代間交流「高齢者と未就学児の昔遊び」

- ◎加藤 勇 花田史朗 吉田勇治
- 渡部健一 渡部喜代男 田邊悦三郎
- 今岡健治

視察研修

6月11日
運営委員・事業委員合同の視察研修を行いました。

- 【研修先】
- 阿宮武部トンネル 上津~斐川IC
- 出雲木材市場 出雲ブランド商品 "E'S-WOOD"



ふれあい支援部

- ◆「米づくり」体験教室 (みなみ小 5年生と朝山幼稚園児)
- ◆「豆腐づくり」体験教室 (みなみ小 1~2年生)

- ◎大島健二 ○吉田郁夫
- 石橋貞則 天喰俊二 吉田義徳
- 板垣勝正 成相友之 吉田裕二
- 成相秀司 永岡幸久 成相裕之